



G I 宮島チャンピオンカップ開設72周年記念

展望 白井が宮島G I 連覇に照準合わす！山口軸に地元勢の奮起駆け五角！

4月白井英治が桐生「G I 70周年記念」優勝からG I 連覇で幕を閉じた「PG I マスターズチャンピオン」に次ぐ26年宮島ビッグタイトル第2弾。06年「G I 宮島モーターボート大賞」、08年「中国地区選手権」で優勝の白井だが優勝14回、V6と確固たる実績を積み宮島水面で「開設周年記念競走」覇者に名が見当たらない。今大会は4月G I タイトル連覇の勢いで白井が「G I 宮島チャンピオンカップ」歴代覇者に名を遺す気合駆けを展開する。対して「PG I マスターズチャンピオン」で予選1位通過もセミファイナル準優で白井の3カドからのダッシュ戦に敗れ3着惜敗でベスト6入りを阻まれた池田浩二。1月、常滑「正月戦」優勝で26年Vロードをスタートさせた好リズムで戦いを続け、16年当地「G I 62周年記念」優勝の池田は大会V2を視野に剛腕を發揮して白井とシリーズV争いを二分する。昨年の大会は荒天のため最終日11R特別選抜戦から中止打ち切りでベスト6入りした中野次郎、山口剛、井上忠政にとって幻の優勝戦となり、今年リベンジVが懸かる奮起の大会となる。今年最初のSG戦3月「ボートレースクラシック」(蒲郡)で優勝の山口と大上卓人に5月「若葉賞」に次ぐ地元出走となる19年65周年覇者・辻栄蔵、上平真二、22年68周年優勝・船岡洋一郎、そして新田泰章、浜先真範、高橋竜矢に女子レーサー・實森美祐らの地元水面、調整、大時計を知り尽くした赤ヘル水軍が強力遠征陣に対し周年タイトル奪回の迎撃態勢で強力遠征陣に対し迎撃態勢を築く。24年当地開催「G I 中国地区選手権」優勝も地元周年記念にV記録がない山口にとって今大会は2月若松4着→3月児島2着→3月尼崎5着とG I 周年記念で優出、そして蒲郡SGタイトル優出と快走の勢いで昨年の大会のリベンジを期しホームでの周年タイトルV取りに燃える。21年宮島「G I ダイヤモンドカップ」V逃げの桐生順平や04年「G I 50周年記念」、06年「52周年記念」、そして22年「SGボートレースオールスター」で当地にV航跡を刻み宮島V7の原田幸哉もV候補の一角に挙げられる。

Table with columns for rider names, times, and performance statistics. Includes a section for '宮島コース別入着状況(%)' and '◇語句・記号の説明'.

F・L未消化選手 ◆30日間:原田 幸哉(8/3~)中野 次郎(6/19~)桐生 順平(6/29~)秋元 哲(6/19~)村岡 賢人(6/19~)白神 優(6/19~)藤原 碧生(7/25~)

※選手勝率、モーター番号欄の [] は、ベスト10を表示。

Main table containing race details for 1R through 5R. Columns include race number, rider name, age, weight, F/L, average ST, win rate, motor number, boat number, and race results. Includes commentary for each race.

